

短期予報解説資料 2025年12月8日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

① 500hPa 5400m付近で -30°C 以下の寒気を伴うトラフに対応する低気圧が北日本にあって、東進。前線が本州付近を通過中。本州日本海側では、雷を検知しやや強い雨を解析。

② 大陸に高気圧があって、東シナ海から日本の南に張り出している。前線や低気圧周辺、高気圧の南縁では気圧の傾きが大きくなっており、全国的にやや強い風や強い風が吹き、波が高くしけている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、発達しながら8日夜は千島近海へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では8日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。なお、これまでの雨で地盤の緩んでいる所があるため、東北地方の日本海側と北陸地方では8日は、土砂災害に注意・警戒。

② 2項①の低気圧は、9日夜はカムチャツカ半島、10日はオホーツク海へ進む。また、1項②の高気圧は、9日は東シナ海へ移動し、日本付近は一時的に西高東低の気圧配置となる。850hPaで北日本には -12°C 以下の寒気が流入し、大雪となる所がある。北日本では10日にかけて、大雪による交通障害、着雪やなだれに注意。また、500hPa 5400m付近の -30°C 以下の寒気を伴うトラフが9日と10日に北～東日本を通過し、上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では9～10日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

③ 500hPa 5700m付近のトラフに対応して、8日夜までには日本の南に前線が顕在化、9日朝までには前線上の日本の東に低気圧が発生して発達しながら東北東へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。伊豆諸島では9日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

④ 2項①の前線や低気圧、2項②の西高東低の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風が吹き波が高くなしける所がある。北日本では10日にかけて、東～西日本では9日にかけて、強風や風雪、高波に注意。また、高気圧の南縁で気圧の傾きが大きくなり、吹送・吹続の長い東よりのやや強い風が吹きうねりを伴い波が高くなる所がある。南西諸島では10日にかけて、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間):多い所(100mm以上)はない。② 降水量(18時からの24時間):北海道・東北30cm。③ 波浪(明日まで):東北・北陸4、北海道・伊豆諸島・近畿・中国・沖縄3m。④ 高潮(明日まで):大潮の時期。北～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない

